

ニュージーランド金融政策（2021年11月）

中立金利を上回る水準に向けての利上げ継続を示唆

2021年11月24日

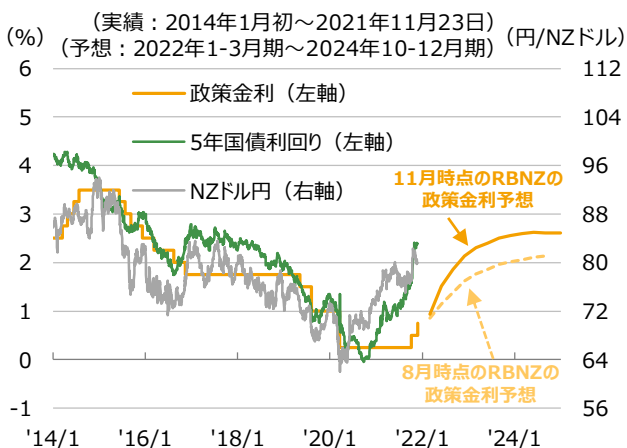
積極的な金融引き締め姿勢がNZドルの下支え要因に

RBNZ（ニュージーランド準備銀行）は11月24日（現地）、金融政策決定会合を開催し、政策金利を0.50%から0.75%に引き上げることを決定しました。前回10月の会合に次いで、2会合連続の利上げです。

声明文のポイントは、①従前の想定より速いペースで利上げする予想を示したこと、②中立金利（2%程度）を上回る2%台半ばまで利上げを進める方針を示したこと、③国債など保有資産の削減方針を来年早々にも明らかにする姿勢を示したことです。こうした背景には、ニュージーランド経済が想定以上に強いということがあります。新型コロナウイルスの感染拡大を抑制するための行動制限はまだ続いています。家計と企業の強靱なバランスシート、財政政策による支援、輸出の回復が経済を支えています。そしてRBNZは、インフレ率の上振れだけでなく、「現在の雇用は最大かつ持続可能な水準を超えている」ことを強調しており、物価の安定と最大かつ持続可能な雇用を実現するためには利上げを継続することが適切だと説明しています。また、住宅市場の過熱にも引き続き警戒感を示しており、現在の住宅価格は持続不可能な水準にあるとの評価の下、住宅価格を安定化させるためにも利上げが必要であると述べています。

今回の決定は市場予想通りでしたが、市場の一部には0.50%ポイントに利上げ幅を拡大させるとの予想や利上げサイクルの終着点3%付近になるとの予想もあったため、発表後に幅広い年限の金利が低下し、為替市場はNZドル安の反応となりました。しかし、より長い目で見れば、他の先進国に比べてRBNZが積極的に金融政策を引き締める姿勢を示していることは、NZドルの下支え要因になると期待されます。

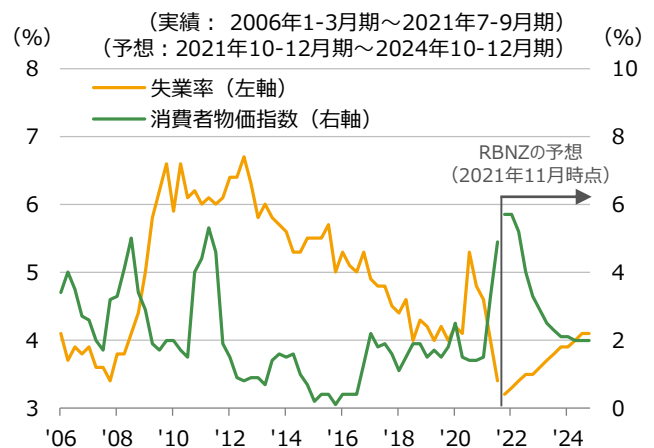
ニュージーランドの金利と為替



※国債利回りとNZドル円は2021年11月23日までのデータ
 ※政策金利は決定日ベース

(出所) ブルームバーグ、RBNZ

ニュージーランドの失業率と消費者物価指数



※消費者物価指数は前年同期比

(出所) RBNZ

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。